

した右手をつけて（左手の掌に右手の甲をつける）下へすり降す。「除き落す」の意味。従って「残り」となる。

除く「残り」と同じ手まね。

後程 少し—未采。

「のでし」「關係」の手まね。そのままですし左へ移行させる。「ために」「故に」と同じ手まね。

長閑 「静か」と同じ手まね。

延ばす 延びる 「延期」と同じ手まね。

野原 「草」の手まねをして、野原の広さを表わすために掌を下に両けた右手を左胸前から前方から右へ大きく弧を描く。

逆せる 掌を上には五指を彎曲した両手を額の上で交互に上下させる。

暢氣 腹が大きい（「寛大」と同じ手まね）—怠ける。

## ハ

葉 「青」を表わしてから、五指の指頭を前方にさし、掌を下向けた両手を胸の前稍々上に位置し、片方ずつ前に出す。

俳優 (ハ)演劇—一人（男性或は女性）(ハ)映画—演劇—一人

排斥 「爪弾き」と同じ手まね。

配達 掌を上に向けた右手を、左胸脇から左へ物を投げる身振、次に胸の中央前から前方へ、続いて右胸脇から右へと物を投げる身振り。

バイオリン 左にバイオリンを持ち、右手で弦を持って、奏なでる身振。

ハイカラ 人差指（上に）と親指（下に）の指頭を肩寄りの類につけ、上の人差指を上へ開く。カラーの高いことを表わす。

売春婦 「娼婦」と同じ手まね。

敗北 「敗ける」と同じ手まね。

羽織 両手の人差指と親指の指頭を夫々の肩の下辺りにつけ、そのまま胸から下へ降して羽織の襟を表わし、胸もとで紐を結ぶ身振。

馬鹿 「阿呆」と同じ手まね。

葉書 「郵便」を表わし（即ち左の人差指と中指の二指に右の人差指をつけて「丁」形をつくる）次に、指頭を前方にさした両手の人差指の指頭をつけ合せて左右に離してから下へ平行に降してまた二指を相寄らして指頭を合わせる。つまり二指で「口」形を描くわけである。

墓 死—石—次に、「葉書」の場合の要領で「口」を描いたように、両手の人差指で墓石の輪郭を描く。

袴 左手を前に、右手を背後殿部にして、

両手を上へすり上げ袴を穿く身振をする。

秤 (1) 竿秤。右手で竿秤についた紐を持って秤を吊り上げる身振をして、左手で分銅の紐の位置を左右に動かす身振。(2) 機械秤。掌を右側に左手を握り拳にした上に、指頭を上にした人差指の右手をのせ、メーターの針が動くように、人差指を微妙に左右に動かせる。

博士 掌を上に向けた左手の上に、掌を内側に指頭を左にさした人差指・中指・葉指・小指の四指（四の敷）の右手をのせる。○○博士の四字を示したものが。

爆撃 「飛行機」の手まねをしてから左手をそのまま残して置いて、右手の掌を下に向け五指の指頭を集め合せて、左手真下から下に向けて落して行き五指をぱっと開き、次に両手の掌を上に向け五指の指頭を集め合せてから、活発に五指をぱっと開いて上へあ